

にぎわい（北海道版）Vol. 228
～日本海にぎわい交流海道ネットワーク通信～

～稚内港にクルーズ船等に対応する係船ビットが完成～

平成 30 年 7 月 27 日、稚内市市制施行 70 年・稚内港開港 70 年を記念して同日入港した「飛鳥Ⅱ」の歓迎セレモニーにあわせ、稚内市と稚内開発建設部の主催により『稚内港末広地区クルーズ船等対応施設』の供用式典が開催されました。

稚内港末広ふ頭は、水深 12m 岸壁が整備されているものの、岸壁延長の不足により、3 万トン超のクルーズ船やサハリンプロジェクトに関わる調査・作業船が安全に係留できない状況にあったことから、大型船の受入環境改善を目的として、海上に係船柱(ビット) 2 基の整備を進めていました。

今回の整備により、宗谷地域では最大となる 12 万トン級の大型クルーズ船の受入が可能となり、稚内港がわが国最北端の新たなクルーズ周遊ルートの拠点港になることが期待されています。



～北防波堤ドームで「みなとコンサート」を開催～

平成 30 年 7 月 14 日、北海道選奨土木遺産である北防波堤ドームにおいて「開港 70 年 第 16 回 WAKKANAI みなとコンサート in みなとオアシス」が開催されました。

毎年恒例となったこのイベントは、「稚内のみなとを考える女性ネットワーク」が主催して、音楽演奏をはじめ、キッズダンスやフラダンスの演舞などが催される「みなとオアシスわっかない」の代表的なイベントです。

今回は開港 70 年を記念して、チェンバロ奏者で現代版北前船プロジェクト代表である明楽みゆき氏を招聘し、のべ約 2,200 人の観客が短い夏のコンサートを楽しましました。



～鴛泊港で「みなとピアガーデン」を開催～

平成30年7月15日、「港からの賑わい発信！」の理念の下、鴛泊港緑地公園にて「みなとピアガーデン」が開催されました。

このイベントは、地元の方や観光客がたくさん来場し、会場内には、焼きウニ、焼きタコ、焼きホタテなどの美味しい海の幸を販売する出店が並び、お客さんも笑顔一杯でした。また、水槽の中のウニを採り出し、自分で割って味わえる「ウニ採り&ウニむき体験」が抜群の人気を博し、多くの人々で賑わっていました。



～杓形港で「クルーズ船見送り隊」と「りしりん」がお出迎え～

利尻島の杓形港には、毎年多くのクルーズ船が寄港しており、地元町民で結成された「クルーズ船見送り隊」と町の公式マスコット「りしりん」が毎回、心を込めたお出迎えとお見送りを行っています。

着岸した岸壁では乗船客、クルー、地域住民との交流ができるよう、地元の漁協や水産加工業者などが露店を出し、にぎわいのある港でのおもてなしを目指しています。



～香深港で「うめーべやフェスティバル」を開催～

平成30年7月21日、礼文島で大人気の目玉イベント、水産まつり「うめーべやフェスティバル」が香深港の特設会場で開催されました。

この水産まつりは礼文島のうまいものを集めた一大イベントであり、町民はもとより大勢の観光客で賑わっていました。今年も人気はホッケ試食コーナーとウニむき体験コーナーであり、順番待ちにたくさんの人が列を作っていました。また、女性限定のタコのつかみ取りイベントでは、うら若き乙女がなりふり構わず水槽に勢いよく飛び込んでタコをゲットしようと悪戦苦闘、その様子を見ている人も水しぶきをかぶりながら一緒に楽しんでいました。

